

【プレスリリース済】



令和5年6月18日	
連絡先	
G7三重・伊勢志摩交通大臣会合 推進協議会事務局	
(雇用経済部 G7交通大臣会合推進 プロジェクトチーム)	
担当者	郡、古市、岩田、岸本
電話	059-224-3413 (18日 公用携帯) 080-3708-1534

G7三重・伊勢志摩交通大臣会合（6月18日）の概要について

G7三重・伊勢志摩交通大臣会合が、6月16日（金曜日）から6月18日（日曜日）までの3日間、志摩市の志摩観光ホテルを会場として開催されました。

最終日の18日（日曜日）は、全てのセッション終了後に、G7三重・伊勢志摩交通大臣会合推進協議会会長の一見勝之知事が、会場内の三重県展示ブースを各国代表団にご紹介させていただきました。

1 展示の概要

三重の食・伝統工芸、産業、観光魅力を紹介するブースを、会場の志摩観光ホテルに設置し、知事からご紹介させていただきました。



知事によるカナダ代表団のご案内



知事によるEU、ドイツ代表団のご案内

(1) 食・伝統工芸

- ・豊かな県産食材を使用した食品、日本酒、伊勢茶の試食・試飲
- ・伝統工芸品の展示と「伊勢形紙」の実演

(2) 産業

- ・自動車産業、半導体産業の企業展示

(3) 魅力発信

- ・ 三重の観光魅力紹介
- ・ 現役海女と世界遺産熊野古道の語り部も参加

2 大学生・高校生による外国語案内ボランティアの活躍

各展示ブースでは、高校生9名、大学生3名、大学院生1名の合計13名の外国語案内ボランティアが各国大臣等に説明を行いました。

説明を行った、セントヨゼフ女子学園高等学校・中学校5年生の湯浅 紘奈(ゆあさひろな)さん(16歳)は、「三重の魅力がたくさんある中で、どのように伝えていくか難しかった。各国の大臣と身近に話せる機会のはめったにないので、貴重な経験ができた。今後は、もっと英語を上達させ、いろんな国の人と交流したい。」と感想を述べました。



伊勢形紙の実演を見学するEU代表团



産業ブースの展示を見学するイギリス代表团



食ブースを見学するイタリア代表团



魅力発信ブースで伊勢志摩の展示を見学するドイツ代表团



伝統工芸ブースでアメリカ代表团へ説明を行う外国語案内ボランティア



魅力発信ブースでアメリカ代表团へ説明を行う外国語案内ボランティア



アメリカ代表团ピート・ブティジェッジ運輸長官とブース出展者及び外国語案内ボランティアによる記念撮影